

第2回 横浜市瀬谷区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録																																							
日 時	令和7年1月30日(木) 09時30分~12時00分																																						
開催場所	瀬谷区役所4階会議室																																						
出席者	藤嶋委員長(美術評論家連盟会員、屋外彫刻調査保存研究会会长) 新谷委員(瀬谷区ジュニアコンサート運営委員代表) 高岩委員(瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会会长) 廣瀬委員(廣瀬昌子税理士事務所) 宮崎委員(瀬谷区美術協会会长)																																						
欠席者	なし																																						
開催形態	一部非公開(議案2以降)(傍聴者0人)																																						
議案	1 委員会の公開・非公開について 2 指定管理者自己評価説明、質疑応答 3 行政評価説明、質疑応答 4 選定評価委員会による評価																																						
決定事項	1 第2回委員会は、議案2以降を非公開とする。 4 選定評価委員会による評価を以下のとおり決定した。																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>具体的な取組</th><th>指定管理者が提案した指標</th><th>業務の基準で設定している指標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使命1</td><td>B</td><td>A</td><td>B</td></tr> <tr> <td>使命2</td><td>B</td><td>C</td><td>B</td></tr> <tr> <td>使命3</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td></tr> <tr> <td>使命4</td><td>C</td><td>A</td><td>A</td></tr> <tr> <td>使命5</td><td>C</td><td>A</td><td>B</td></tr> <tr> <td>使命6</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td></tr> <tr> <td>—</td><td>利用料金</td><td>收支計画</td><td>收支バランス</td></tr> <tr> <td>—</td><td>B</td><td>B</td><td>A</td></tr> </tbody> </table>				具体的な取組	指定管理者が提案した指標	業務の基準で設定している指標	使命1	B	A	B	使命2	B	C	B	使命3	B	B	B	使命4	C	A	A	使命5	C	A	B	使命6	A	A	A	—	利用料金	收支計画	收支バランス	—	B	B	A
	具体的な取組	指定管理者が提案した指標	業務の基準で設定している指標																																				
使命1	B	A	B																																				
使命2	B	C	B																																				
使命3	B	B	B																																				
使命4	C	A	A																																				
使命5	C	A	B																																				
使命6	A	A	A																																				
—	利用料金	收支計画	收支バランス																																				
—	B	B	A																																				
議事	1 委員会の公開・非公開について 議案1「委員会の公開・非公開について」までを公開とし、議案2以降に関する審議については非公開とすることとした。 2 指定管理者自己評価説明、質疑応答 指定管理者からこれまでの事業全体の取組みと及び今後の強化ポイントについての説明を実施した。 (委員) 瀬谷区民文化センターは新しく、使い勝手が良くて精力的に活動しているのは承知しているが、課題も多いと感じている。地域芸術文化推進パートナーの展覧会では、展示方法が誤っていたり、作品の点数があまりに少なかつたりなど、出展者へのサポートが不十分であるように感じた。出展者に任せきりにするのではなく能動的にアドバイスを行うなど、スタッフのスキル向上を図ってほしい。 また、自主事業についてもより瀬谷らしい企画ができるのではと考えている。例えば、																																						

瀬谷区の風景画展を行い、入賞作品はカレンダーとして発行するなど、区と連携して広がりのある企画を考案してほしい。

(委 員)

まちあるきガイドが瀬谷駅周辺のみを対象としているように、三ツ境駅方面との連携や周知に課題があると感じる。区民文化センターとして、もっと瀬谷区全域へのアウトリーチを意識してほしい。また、今後の強化ポイントに挙げられていた自治会への出張コンサートは、どのように依頼すればよいのか？

(指定管理者)

まちあるきガイドは、来館誘致の意図もあり、施設周辺に絞って作成している。自治会への出張については、まずは地域に出向いて様々なニーズを捉えることが重要であるため、公共性があり、来館促進につながるものであれば当初は無料での実施を想定しているが具体的な内容についてはご相談したい。

(委 員)

繰り返しになるが三ツ境駅周辺に対しての周知を強化してほしい、その一環としてまちあるきガイドの三ツ境駅周辺版を是非作ってほしい。

(委 員)

施設自体の認知度が低いと感じる。瀬谷駅周辺への案内掲出など施設の認知を高める取り組みをもっとやってほしい。

(委 員)

施設自体の認知度を高めるためには現在実施している3連合自治会に対するイベントの告知ではなく、12連合自治会に対して告知すれば瀬谷区全域に届くのでもっと連合自治会を使ってほしい。

3 行政評価説明、質疑応答

事務局から行政評価の説明を実施した。

(委 員)

今日の委員会で委員から出た施設に対する要望や意見は指定管理者に伝わるのか

(事務局)

事前にいただいたコメントや本日の委員会での発言の中から事務局が報告書を作成し公表するので指定管理者にも同様の内容を伝える。報告書に記載する内容については事前に委員の方々に確認してもらうので、その際に指定管理者に伝えたい要望や意見が記載されているか確認をしてほしい。

4 選定評価委員会による評価

使命1 「文化芸術に関する活動と体験の場の提供」について

(委 員)

スタッフの中に、接客態度に問題がある人がいると聞いている。受付は施設の顔であり、応対マナー等の底上げが必要である。

作品の展示方法などスタッフの文化芸術に対する知識が十分でないと感じることが多くある。スキル向上のため、スタッフの育成プログラムも必要ではないか。

(委 員)

コンサート等では毎回実施後にアンケートがあるが、コンサート自体への評価が主であるため、施設に対する評価もしっかりと聞く必要があるのでは。

(委 員)

音楽多目的室は人気が高く、利用者としては予約が取れずに困っているくらいだが、ギャラリーは使い勝手が良いわりに稼働率が低いように思う。

使命 2 「地域の文化活動を担う人材の育成」について

(委 員)

アーティストバンクの募集や地域推進パートナーによる企画をどんどん実施してほしいが、募集していることや登録されたアーティストによる企画を実施していることの周知がない。もっと働きかけを行ってほしい。

(委 員)

アーティストバンクや地域芸術推進パートナーの選定基準が不明である。またアーティストバンクの登録アーティストや地域芸術推進パートナーを起用した事業のテーマや企画の意図が分かりにくい。

(委 員)

瀬谷区には素晴らしいアーティストがいることについて、指定管理者からの発信力を高めてほしい。

使命 3 「文化芸術の鑑賞機会の提供」について

(委 員)

「あじぶら亭」は高齢者も楽しめる人気あるイベントとして評価できる。

(委 員)

実施しているコンサートの質は高く評価できるが、出演者の年代や演目に偏りがあり、幅が狭いように感じる。

(委 員)

委員会の結論としてB評価とすることに異論はないが、区民文化センターは収益性を高めるための施設ではないため、文化ニーズに対してチケット販売率の数値目標で判断するのはふさわしくない。

使命 4 「地域ネットワーク形成への寄与」について

(委 員)

地域ネットワークの形成には、どうしても時間がかかるものである。瀬谷区は発展がさらに期待できる場所であるため、これからに期待したい。

(委 員)

三ツ境駅周辺に住んでいる人からすると遠く感じる。立地から、瀬谷駅近くを中心に活動を広めているが、瀬谷区は南北に広い区である、全区域との連携や働きかけは大変ではあるが、積極的に行ってほしい。

(委 員)

毎月の催し・行事等の予定やコンサートがあるときはポスター掲示を連合に依頼するなど、各自治会への宣伝をもっとしてほしい。

使命5 「様々な区民の社会参加機会の創出」について

(委 員)

瀬谷区民の外国籍の割合はどの程度か。

(事務局)

2,358人で瀬谷区民の約2%。数字としては伸びてきている。

(委 員)

ホームページは、見やすく外国語表記も設定されている。

(委 員)

開催している事業の開催意図や、参加しているアーティストの案内などを、外国語表記すると、外国籍の方にも興味をひくのではないか。

(委 員)

あじぶら亭は高齢者向け事業ではないのか。

(事務局)

年齢制限はなく、全世代対象としている。

使命6 「安全かつ効率的・効果的な施設運営の実現」について

(委 員)

これまで大きな事故なく運営できているのは評価できる。ただし、非常扉の扱いなど、利用者の安全に関わる内容が十分に周知されていないと感じるため、利用の手引きに記載するなど、一部改善が必要ではないか。

「利用料金、収支計画及び収支バランス」について

(委 員)

「定期利用ポイントカード」の導入ができていない。

(委 員)

総額の収支バランスは取れているが、予算と実績の乖離が大きく、適切に予算策定がされているか疑問がある。水道光熱費が2期連続で予算を大幅に下回っている点、備品購入費が2期連続で全額残っている一方で消耗品費が不足している点、修繕費が消化されていない点など、予算との乖離が目立つ項目が多いため、1年を通してどのような運営を行うのか、明確に予算に反映する必要があるのではないか。

総括

(委 員)

瀬谷区民文化センターはこれから50年以上歴史を積み重ねていく施設。今後大きな変化をとげる瀬谷区とともに時間をかけていい施設になってもらいたい。

(委 員)

他の区民利用施設と比べると利用者に対する配慮が足りない。もっと利用者目線に立

つことや区民性を理解した上で窓口対応をしてほしい。

(委 員)

先日横浜 DeNA ベイスターズの選手のトークショーが瀬谷区民文化センターで開催されたことを知らなかった。多くの横浜市民が興味を引きそうなイベントであっても区民文化センターから離れていると情報が入ってこないのが実情。連合自治会との連携を強化して、瀬谷区民文化センターをもっとアピールしてほしい。

(委 員)

瀬谷区民文化センターは、通常ギャラリーの天井に設置するピクチャーレールがギャラリーの中間あたりの壁にも組み込んであるため高齢者などにとっても絵画などを設置しやすいギャラリーとなっており、市内の他の区民文化センターと比べても使い勝手が良い施設である。一方で、区民文化センターを知らない人にどうやってその存在をしってもらうかが大きな課題だと感じている。瀬谷区内に区民文化センターがあること自体を知らない方も結構多くいるので、施設自体の発信力を高めて、さらなる周知に務めることが必要だと思う。区民に愛される施設を目指してほしい。

(委 員)

瀬谷区民文化センターが様々な事業に取り組んでいることがわかったが、現状はインターネットなどを使って自ら情報を取りにいく人にしか情報が届いていないと思う。地道な方法かもしれないが回覧板などを活用してとにかく知名度をあげていくことで、地域での文化団体のネットワークも広がっていくと思う。

- | | |
|-----|--|
| 資 料 | <ol style="list-style-type: none">1 第1期横浜市瀬谷区民文化センター指定管理者業務報告書（案）2 行政評価の基準について3 評価項目評価シート4 第1期横浜市瀬谷区民文化センター指定管理者業務評価表 |
|-----|--|